

# 平成24年度事故情報収集調査結果について ～事故調査結果からみえる製品事故動向～

平成25年11月  
製品安全調査課 葛谷弘之

NITE（ナイト）製品安全センター

\* 事故情報収集件数等については、暫定であり、今後、数値が変わる可能性があります。

## I. はじめに

- NITE(ナイト)とは
- 製品安全業務の実施体制

# NITE(ナイト)とは

確かな技術と信頼できる情報をもとに  
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます

NITEは、  
製品事故の公的な  
原因究明機関です。

製品事故の原因を分析  
して、経済産業省と連携  
して製品の改善や回収  
などの事故防止対策に  
貢献することを使命とし  
ています。

製品事故の  
調査・分析、  
安全情報の  
提供

微生物の  
保存提供、  
ゲノム解析

様々な分野の技術者が結集。  
約140人のスタッフが全国10か所で  
事故原因を究明。

nite

試験・検査  
機関の信頼  
性評価

適合性  
認定分野

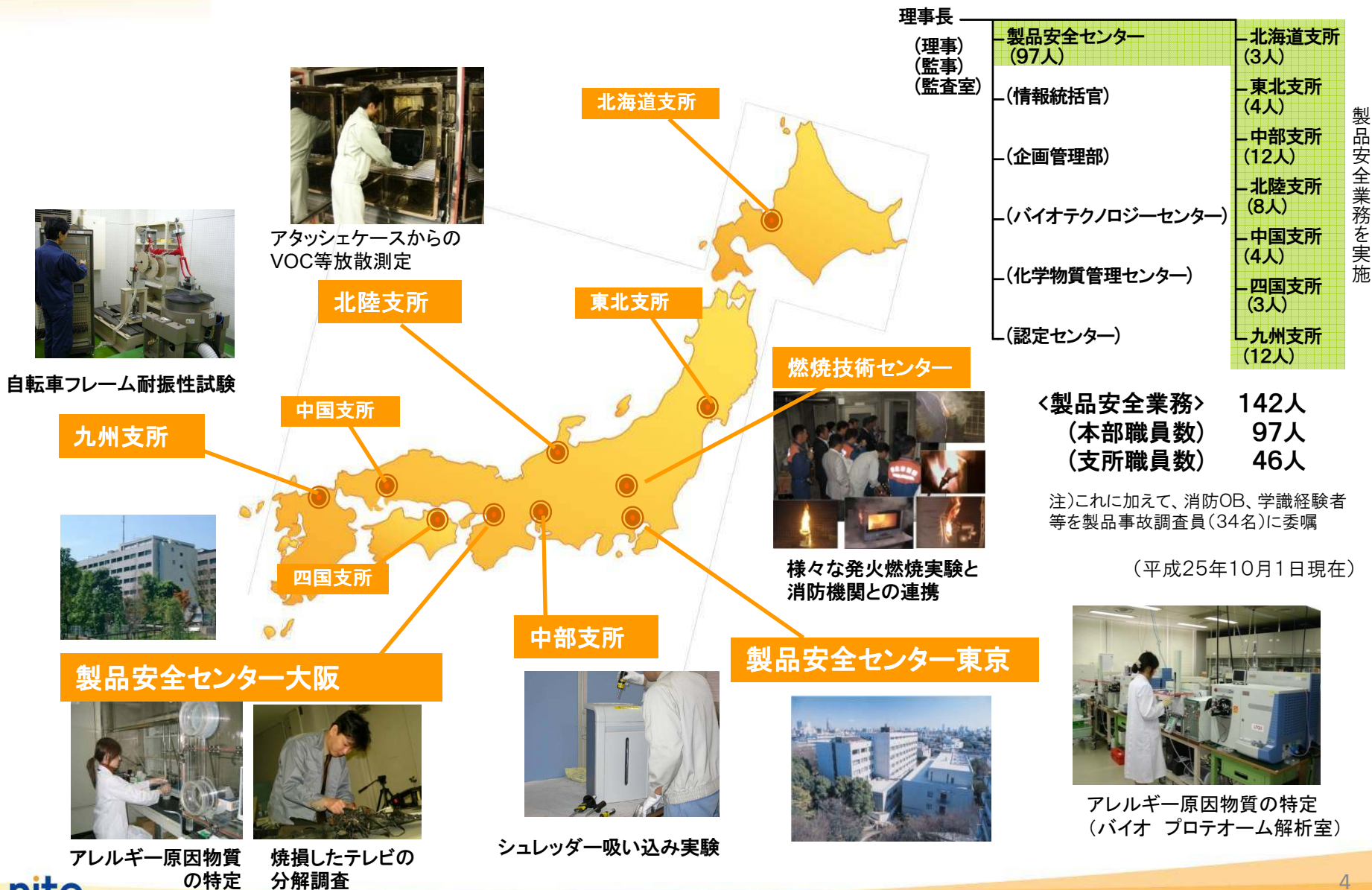
市場のグローバル化に  
対応し、国際ルール  
による認定を実施

化学物質  
管理分野

化学物質総合管理の  
知的基盤整備と  
技術的支援を行う

化学物質の  
安全情報の  
提供

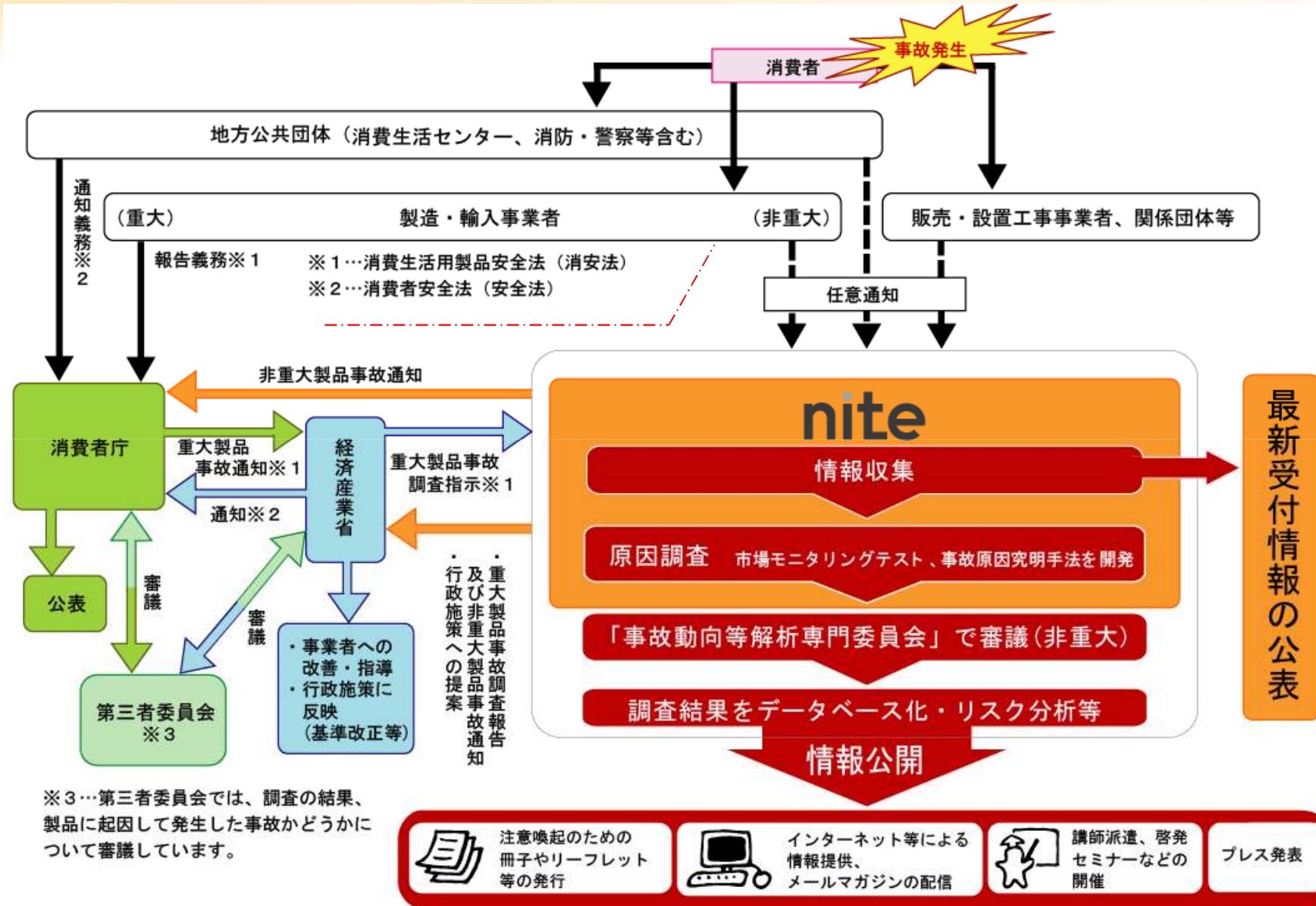
# 製品安全業務の実施体制



## Ⅱ. 平成24年度事故情報収集調査結果

- 事故情報収集制度
- 事故情報収集結果
- 事故情報調査結果
- 社告・リコール情報収集

# 事故情報収集制度



※3…第三者委員会では、調査の結果、製品に起因して発生した事故かどうかについて審議しています。

消費生活用製品安全法における重大製品事故とは、死亡事故のほか、治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病、後遺障害事故、一酸化炭素中毒及び火災事故で、非重大製品事故はそれ以外の事故です。

# 事故情報収集結果 1

## 情報源別収集件数

(件)

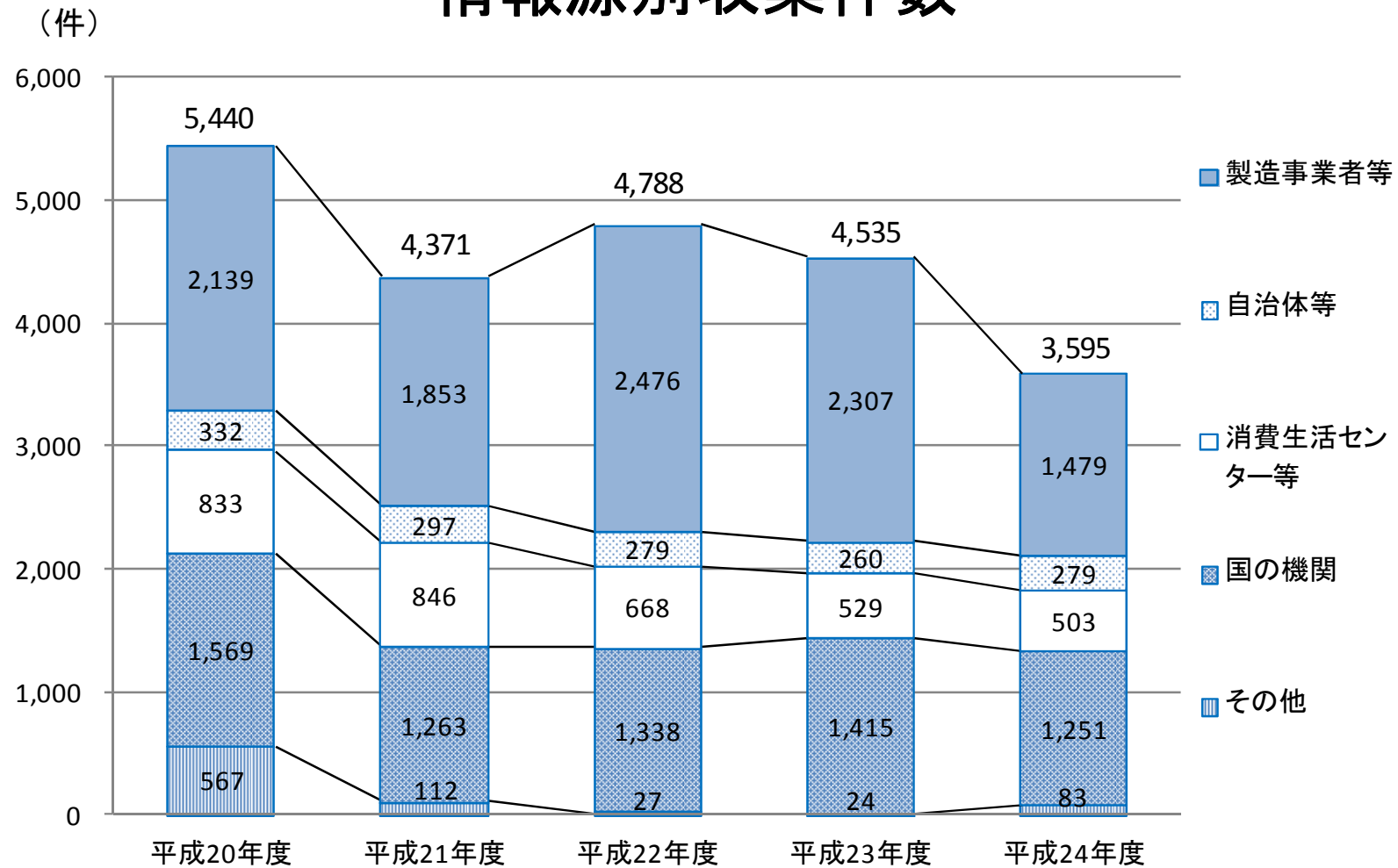
情報源別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
製造事業者等	2,139	1,853	2,476	2,307	1,479
自治体等	332	297	279	260	279
消費生活センター等	833	846	668	529	503
国の機関	1,569	1,263	1,338	1,415	1,251
その他	567	112	27	24	83
合計	5,440	4,371	4,788	4,535	3,595

※重複情報、重大製品事故情報含む。

集計：平成25年8月1日現在

# 事故情報収集結果 2

## 情報源別収集件数



※重複情報、重大製品事故情報含む。

集計：平成25年8月1日現在



# 事故情報収集結果 3

## 製品区分別収集件数

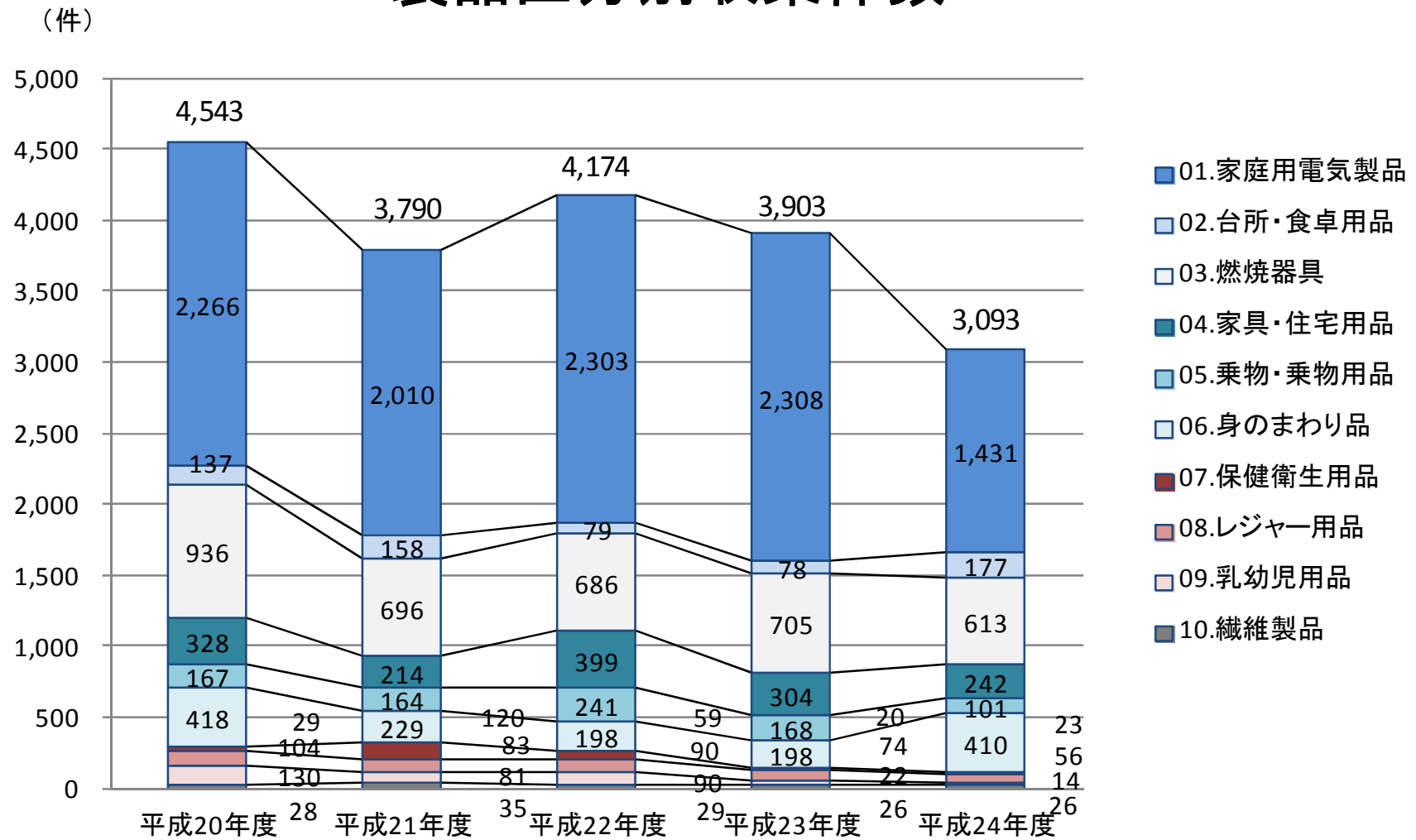
(件)

	平成21年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成24年度 品目の比率
01.家庭用電気製品	2,266	2,010	2,303	2,308	1,431	46.3%
02.台所・食卓用品	137	158	79	78	177	5.7%
03.燃焼器具	936	696	686	705	613	19.8%
04.家具・住宅用品	328	214	399	304	242	7.8%
05.乗物・乗物用品	167	164	241	168	101	3.3%
06.身のまわり品	418	229	198	198	410	13.3%
07.保健衛生用品	29	120	59	20	23	0.7%
08.レジャー用品	104	83	90	74	56	1.8%
09.乳幼児用品	130	81	90	22	14	0.5%
10.繊維製品	28	35	29	26	26	0.8%
計	4,543	3,790	4,174	3,903	3,093	100.0%

※重複情報を除いた件数 集計:平成25年8月1日現在

# 事故情報収集結果 4

## 製品区分別収集件数



※重複情報を除いた件数 集計:平成25年8月1日現在

# 事故情報収集結果 5

## 年度別に事故収集件数が多かった10製品

平成22年度 [事故情報収集件数 4,174件]			平成23年度 [事故情報収集件数 3,903件]			平成24年度 [事故情報収集件数 3,093件]		
品名	件数	割合	品名	件数	割合	品名	件数	割合
パソコン周辺機器	487 ( 3)	11.7%	直流電源装置	521 ( 3)	13.3%	乾電池	259 ( 0)	8.4%
電気温風機	203 ( 5)	4.9%	パソコン周辺機器	472 ( 2)	12.1%	電気ストーブ	175 ( 33)	5.7%
自転車	139 ( 39)	3.3%	ガスふろがま	179 ( 21)	4.6%	ガスふろがま	151 ( 24)	4.9%
ガスふろがま	138 ( 21)	3.3%	ガスこんろ	108 ( 65)	2.8%	扇風機	145 ( 9)	4.7%
ガスこんろ	135 ( 89)	3.2%	自転車	104 ( 39)	2.7%	ガスこんろ	96 ( 53)	3.1%
パソコン	133 ( 3)	3.2%	電気ストーブ	93 ( 39)	2.4%	食器	83 ( 0)	2.7%
携帯発電機	105 ( 0)	2.5%	電気オーブントースター	89 ( 0)	2.3%	直流電源装置	80 ( 2)	2.6%
電話交換機	104 ( 1)	2.5%	ガス給湯器	87 ( 21)	2.2%	ガス給湯器	78 ( 18)	2.5%
エアコン	90 ( 58)	2.2%	石油ストーブ	78 ( 67)	2.0%	エアコン	74 ( 56)	2.4%
電気ストーブ	88 ( 39)	2.1%	電気フライヤー	78 ( 0)	2.0%	自転車	68 ( 32)	2.2%
						配線器具	68 ( 0)	2.2%

※重複情報を除いた件数。( )内は重大製品事故。 集計:平成25年8月1日現在

# 事故情報調査結果 1

## 事故原因別事故件数

事故原因区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
非重大製品事故	製品に起因する事故	1,463	2,543	1,984	543
	A 専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	1,052	2,178	1,376	445
	B 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	85	62	73	11
	C 製造後、長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	85	30	44	20
	G3 製品起因であるが、その原因が不明なもの	241	273	491	67
	製品に起因しない事故	1,118	733	824	374
	D 業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	81	56	71	22
	E 専ら誤使用や不注意な使い方によると考えられるもの	723	440	463	232
	F その他製品に起因しないと考えられるもの	314	237	290	120
	事故原因が判明しないもの	710	338	528	221
	G1 G2 原因不明のもの	710	338	528	221
非重大製品事故 計	3,291	3,614	3,336	1,138	
重大製品事故	498	548	528	177	
小 計	3,789	4,162	3,864	1,315	
調 査 中	1	12	39	1,778	
合 計	3,790	4,174	3,903	3,093	

※重複情報・調査中を除く。 集計:平成25年8月1日

# 事故情報調査結果 2

## 製品区分別事故原因(平成24年度分)

事故原因 区分  製品区分	非重大製品事故											重大 製品 事故	合計
	製品に起因する事故					製品に起因しない事故				原因 不明	非重大		
	A	B	C	G3	小計	D	E	F	小計	G12	計		
01.家庭用電気製品	261	7	12	50	330	9	60	40	109	63	502	110	612
02.台所・食卓用品	90		1		91		12	2	14	14	119	2	121
03.燃焼器具	6	1	5	1	13	10	104	30	144	90	247	35	282
04.家具・住宅用品	28			13	41	1	22	10	33	9	83	9	92
05.乗物・乗物用品	3	1		1	5	2	7	14	23	14	42	11	53
06.身のまわり品	45	2	1	1	49		5	14	19	12	80	5	85
07.保健衛生用品	8				8		1	1	2	1	11	4	15
08.レジャー用品	2		1	1	4		16	4	20	17	41	1	42
09.乳幼児用品					0		5	1	6	1	7		7
10.繊維製品	2				2			4	4		6		6
総計	445	11	20	67	543	22	232	120	374	221	1138	177	1315

※重複情報・調査中を除く。集計:平成25年8月1日

重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁が製品起因による事故及び原因不明であると判断したもの。

### 製品に起因する事故

- A 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
- B 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
- C 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
- G3 製品起因であるが、その原因が不明なもの

### 製品に起因しない事故

- D 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
- E 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
- F その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの

# 事故情報調査結果 3

## 「製品に起因する事故及び重大製品事故」件数の上位5製品

平成22年度(4,162件)			平成23年度(3,864件)			平成24年度(1,315件)		
重大製品事故(548件)			重大製品事故(528件)			重大製品事故(177件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
エアコン	41	7.5%	エアコン	33	6.3%	石油給湯機	13	7.3%
電子レンジ	31	5.7%	石油ふろがま	30	5.7%	電気冷蔵庫	13	7.3%
石油給湯機	28	5.1%	電気ストーブ	24	4.5%	電子レンジ	11	6.2%
電気ストーブ	28	5.1%	石油給湯機	22	4.2%	自転車	9	5.1%
石油ふろがま	20	3.6%	電気洗濯機	21	4.0%	石油ふろがま	8	4.5%
						電気洗濯機	8	4.5%
合計	148	27.0%	合計	130	24.6%	合計	54	30.5%
非重大製品事故(2,543件)			非重大製品事故(1,984件)			非重大製品事故(543件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
パソコン周辺機器	453	17.8%	直流電源装置	505	25.5%	扇風機	125	23.0%
電気ファンヒーター・電気 温風機	198	7.8%	パソコン周辺機器	378	19.1%	食器	78	14.4%
パソコン	130	5.1%	電気オーブントースター	87	4.4%	配線器具	40	7.4%
携帯発電機	105	4.1%	電気フライヤー	78	3.9%	直流電源装置	37	6.8%
電話交換機	103	4.1%	介護ベッド	58	2.9%	デスクマット	17	3.1%
						手すり用固定金具	17	3.1%
合計	989	38.9%	合計	1,106	55.7%	合計	314	57.8%

※重複情報・調査中を除く。集計:平成25年8月1日

重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁が製品起因による事故及び原因不明であると判断したものであり、非重大製品事故とは、それ以外のもの。

# 事故情報調査結果 4

## 「誤使用や不注意による事故」件数の上位5製品

平成22年度(4,162件)			平成23年度(3,864件)			平成24年度(1,315件)		
原因区分E:専ら誤使用や不注意な 使い方によると考えられるもの(440件)			原因区分E:専ら誤使用や不注意な 使い方によると考えられるもの(463件)			原因区分E:専ら誤使用や不注意な 使い方によると考えられるもの(232件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
ガスこんろ	172	39.1%	ガスこんろ	63	13.6%	ガスこんろ	32	13.8%
ガスふろがま	74	16.8%	ガスふろがま	57	12.3%	ガスふろがま	28	12.1%
はしご・脚立	36	8.2%	はしご・脚立	28	6.0%	ガス栓・迅速継手	12	5.2%
石油ストーブ	36	8.2%	石油ストーブ	27	5.8%	玩具(携帯用ゲーム機)	12	5.2%
石油ふろがま	27	6.1%	ガス栓・迅速継手	25	5.4%	踏み台	8	3.4%
合計	345	78.4%	合計	200	43.2%	合計	92	39.7%

※重複情報・調査中を除く。集計:平成25年8月1日

# 事故情報調査結果 5

## 事故原因別被害状況(平成24年度分)

被害状況 事故区分		人的被害				物的被害			被害なし	合計	
		死亡	重傷	軽傷	小計	拡大被害	製品破損	小計			
重大製品事故		5	31	3	39	82	56	138		177	
	A			126	126	21	290	311	8	445	
	B			4	4	2	5	7		11	
	C					5	14	19	1	20	
	G3			6	6	13	48	61		67	
	製品に起因する事故				136	136	41	357	398	9	543
	D			2	2	7	13	20		22	
	E	3	18	53	74	70	77	147	11	232	
	F	7	37	18	62	45	11	56	2	120	
	製品に起因しない事故		10	55	73	138	122	101	223	13	374
	原因不明	G	2	1	52	55	32	125	157	9	221
非重大製品事故		12	56	261	329	195	583	778	31	1,138	
合計		17	87	264	368	277	639	916	31	1,315	

※重複情報・調査中を除く。集計:平成25年8月1日



# 社告・リコール情報収集 1

## 年度別 社告・リコール情報収集件数

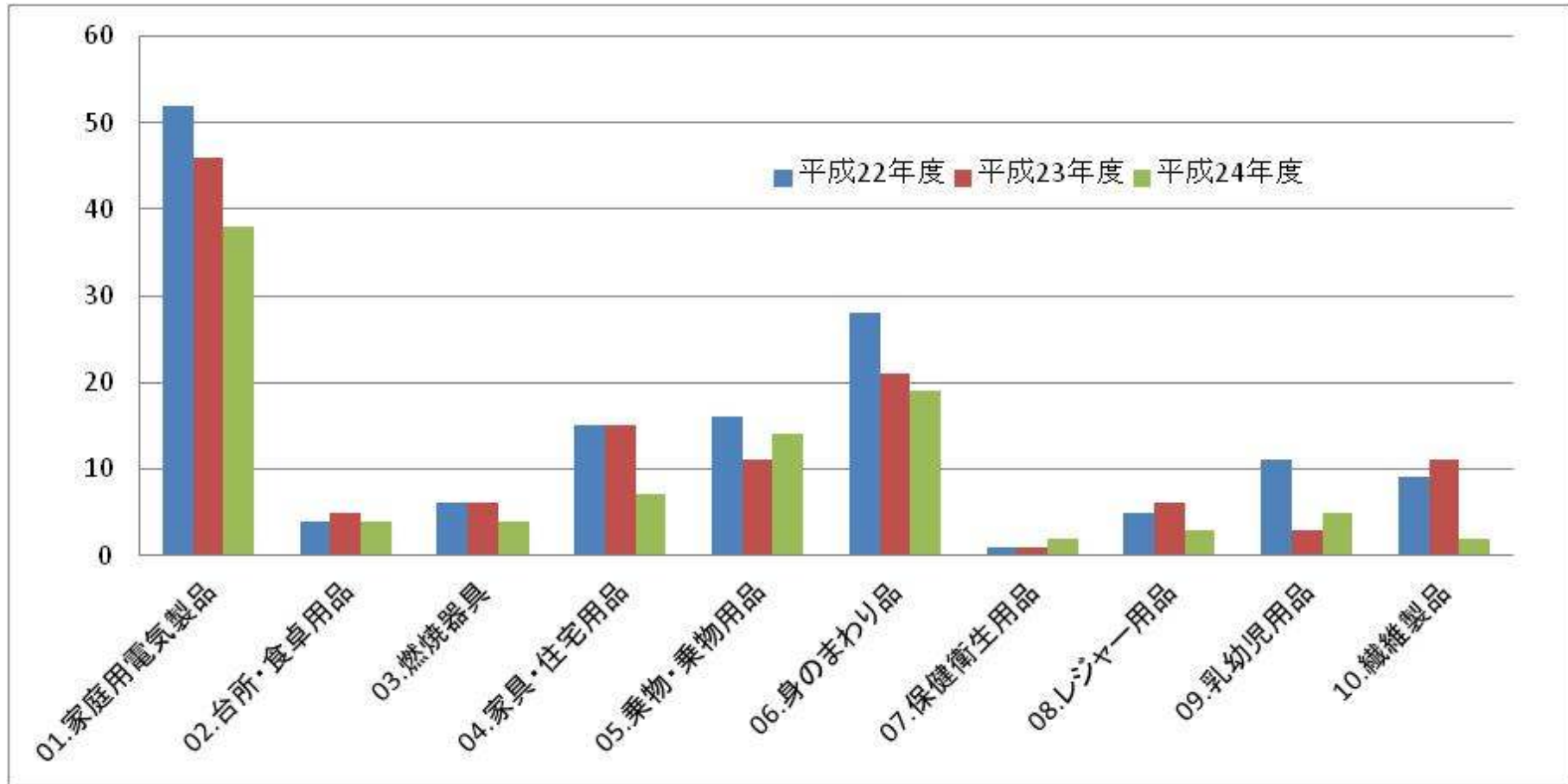
製品区分	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
01.家庭用電気製品		52	35.4%	46	36.8%	38	38.8%
02.台所・食卓用品		4	2.7%	5	4.0%	4	4.1%
03.燃焼器具		6	4.1%	6	4.8%	4	4.1%
04.家具・住宅用品		15	10.2%	15	12.0%	7	7.1%
05.乗物・乗物用品		16	10.9%	11	8.8%	14	14.3%
06.身のまわり品		28	19.0%	21	16.8%	19	19.4%
07.保健衛生用品		1	0.7%	1	0.8%	2	2.0%
08.レジャー用品		5	3.4%	6	4.8%	3	3.1%
09.乳幼児用品		11	7.5%	3	2.4%	5	5.1%
10.繊維製品		9	6.1%	11	8.8%	2	2.0%
合計		147	100.0%	125	100.0%	98	100.0%

集計：平成25年8月1日

詳細については、社告・リコールの検索：<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

# 社告・リコール情報収集 2

## 年度別 社告・リコール情報収集件数



集計：平成25年8月1日

詳細については、社告・リコールの検索：<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

# 社告・リコール情報収集 3

## ISOのガイドライン

ISO 10377:2013

2013年4月15日発行

### 「消費者製品安全－供給者のためのガイドライン」 （「製品安全ガイドライン」と略称）

消費生活用製品の安全性のアセスメント及びマネジメントについての実務的ガイダンス。  
経済産業省が公表している「製品安全に関する事業者ハンドブック」、「リスクアセスメント・  
ハンドブック実務編」とほぼ同じ趣旨。

設計、生産、市場まで全体を網羅

ISO 10393:2013

### 「消費者製品リコール－供給者のためのガイドライン」 （「製品リコールガイドライン」と略称）

消費生活用製品のリコール・その他の是正措置についての実務的ガイダンス。  
経済産業省が公表している「消費生活用製品リコールハンドブック」とほぼ同じ趣旨。

リコールに関する部分を詳しく

# 社告・リコール情報収集 4

「リコール」とは（経済産業省「リコールハンドブック2010」より抜粋）

広義にとらえ消費生活用製品による事故の発生及び拡大可能性を最小限にするための事業者による対応。

事業者向けの心得、具体的な行動

具体的には

- ① 製造、流通及び販売の**停止**／流通及び販売段階からの**回収**
- ② 消費者に対する**リスクについての適切な情報提供**
- ③ 類似事故未然防止のために必要な使用上の注意等の情報提供を含む消費者への**注意喚起**
- ④ 消費者の保有する**製品の交換、改修(点検、修理、部品の交換等)**又は**引取り**を実施すること。

## 「リコール社告」の定義（JIS S0104）

製品の欠陥など※によってリコールを新聞、雑誌、店内ポスター、ホームページなどの媒体を通じて消費者に知らせるために出す緊急のお知らせ。

ただし、消費者に対して、おわび又は説明だけを行う社告は、リコール社告とはいわない。

「欠陥など※」

- ・欠陥であることが分かっている場合
- ・欠陥がどうかはその時点では判定できないが、**危害が発生している又は危害が発生する可能性がある場合**
- ・安全にかかわる法規などへの違反がある場合

消費生活用製品のリコール社告の記載項目及び作成方法  
具体的な公表時のフォーマット

# 社告・リコール情報収集 5

## リコールJIS

(S 0104 消費生活用製品のリコール社告の記載項目及び作製方法)

2008年制定。消費者提案のはじめてのJIS規格。

(近年の新聞社告)

- ①リコールタイトル
- ②危険性、事故の状況及びその原因
- ③消費者が取るべき対応策
- ④回収、点検・修理など、消費者への要請
- ⑤製品の特定方法

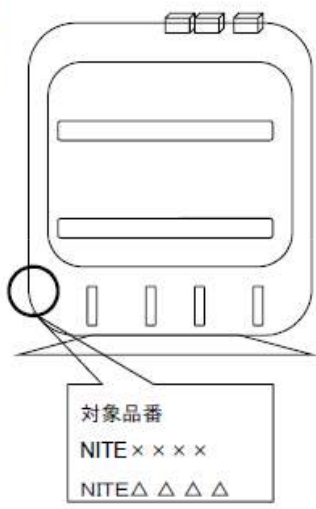
**リコール社告 NITE製電気ストーブ(回収)**

発煙・発火のおそれ  
NITE製電気ストーブ NITE××××  
NITE△△△△

弊社電気ストーブで発煙・発火事故が発生しました。原因は電源基盤の不適合が原因と思われます。

回収して部品交換を行いますので当該製品をご利用のお客様は直ちに電源プラグを抜いてご使用を中止し、左記に連絡してください。弊社の社員証を携帯した担当者が回収にお伺いします。

**NITE製電気ストーブ**



販売場所と期間  
全国のスーパー及び家電販売店において、平成十八年四月上旬から平成十九年三月末の間に販売

連絡先 東京都渋谷区〇〇 NITE産業 お客様相談室  
フリーダイヤル 〇120(×××)〇〇〇〇〇

受付時間 午前9時から午後5時 (土・日、祝日を除く)  
FAX 〇〇〇△△△△

対象台数 一万台  
これまでの回収台数 五〇〇〇台(回収率 五〇%)  
ホームページ [http://www.nite.go.jp/rlk/index\\_4.html](http://www.nite.go.jp/rlk/index_4.html)

お客様からご提供いただきました個人情報には本件の目的以外には使用いたしません。

平成二十一年九月一日 NITE産業

(旧新聞社告)

**お詫びとお願**

「NITE製電気ストーブ」をご購入されたお客様へ

平素は弊社製品をご利用いただきまして誠にありがとうございます。さて、このたび弊社が全国の店舗で平成十八年四月上旬から平成十九年三月末の間に販売した左記の商品の一部で電源基盤のはんだ部分の不具合からごく稀に発煙、発火に至る可能性が判明いたしました。

当該製品をご利用のお客様には、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご使用中のお客様におかれましては誠に恐縮ではございますが、型番と製造番号をご確認いただき、該当する製品の場合は、ご使用を窓口までご連絡ください。

NITE産業

対象品番  
NITE-××××  
NITE-△△△△

〇〇〇〇  
5時(土・日、祝日を除く)  
[http://www.nite.go.jp/rlk/index\\_4.html](http://www.nite.go.jp/rlk/index_4.html)

た個人情報は本件の目的以外には

- ⑥連絡先
- ⑦リコール社告の回数及びこれまでの回収率
- ⑧ホームページアドレス
- ⑨日付
- ⑩その他の必要事項  
※経緯説明やおわび

# 社告・リコール情報収集 6

## リコール製品の再点検について

事故が再発しているリコール製品一覧

★は優先度の高い28品目

← 年度 →

平成25年3月  
経済産業省製品安全課

No.	品 目	計	19	20	21	22	23	24	火災	死亡	重傷	進捗率	リコール 開始日
★1	石油給湯機	80	26	17	12	12	6	7	79		1	98.3%	H14/10/24
★2	石油給湯機	32	8	6	5	8	3	2	32			88.3%	H14/10/24
★3	電気こんろ	44	14	15	5	2	5	3	44			99.1%	H19/07/04
	電気こんろ	22	10	6	2	3	1		22			89.5%	H19/07/04
	電気こんろ	21	3	5	3	3	5	2	21			97.7%	H19/07/04
	電気こんろ	6	2	1			1	2	6			98.9%	H19/07/04
★4	石油ふろがま	30	3	9	8	1	7	2	30			32.9%	H19/07/27
★5	電子レンジ	26	3	5	4	9	3	2	26			13.3%	H15/09/02
★6	電子レンジ	20	3	7	5	2	3		20			6.1%	H19/09/12
★7	携帯型音楽プレーヤー	20		1	5	6	6	2	20			7.9%	H20/08/20
★8	石油給湯機	18	6	4	4	4			18			79.6%	H17/01/24
★9	エアコン	18	1	2	4	5	3	3	18			75.3%	H16/08/20
★10	ガスふろがま	12	6	4	2				12			38.2%	H19/06/09
★11	電子レンジ	11	2		3	3	1	2	11			22.5%	H19/05/30
★12	電気ストーブ	11	1	5	2	3			11			40.9%	H15/02/28
★13	直流電源装置	10	4	2	2			2	10			88.8%	H12/06/06
★14	電気洗濯機	9					6	3	9			7.1%	H22/11/12
★15	自転車用幼児座席	9				3	6				9	46.7%	H22/09/21
	自転車用幼児座席	1				1					1	46.7%	H22/07/09
★16	ガスふろがま用バーナー	9	2	1		2	1	3	9			72.0%	H19/04/19
	ガスふろがま	4				1		3	4			72.0%	H19/04/19
	ガスふろがま	1				1			1			72.0%	H19/04/19
★17	電気冷蔵庫	8			2	2		4	8			27.4%	H20/12/16
★18	エアコン(室外機)	6			2	4			6			22.3%	H21/02/03

現在リコールされている製品のうち、改正消費生活用製品安全法が施行され、事故情報報告・公表制度が創設された平成19年以降、重大製品事故(製品起因でない事故、原因調査中の事故等を除く)が再発したものを点検対象とした。

該当する製品は127製品であり、再発した重大製品事故の件数は、計645件であった。

平成25年3月27日 経済産業省消費経済審議会製品安全部会 資料より抜粋

# 社告・リコール情報収集 7

## 製品から見える問題点

### ○未対策品による事故

#### 小形キッチンユニット(電気こんろ)

集合住宅で初期装備されている場合、使用者が製品を認識していない可能性がある。

#### ふろがま・給湯器(ガス・石油)

長期間の使用に伴う事故が多いが、設置場所が普段目に付きにくいところにあるため、なかなか認識されにくい。

#### ハロゲンヒーター(電気ストーブ)

多数の輸入事業者が扱ったため(中小企業が多く)、型式も多くなっており、なかなか十分な周知ができない。

### ○製造・輸入事業者の倒産

リコール開始後に倒産し、リコール不能となるケースがある。

- ・経済産業省、NITE等から消費者に対し、直接、使用中止を呼びかけ
- ・協力的な販売事業者が回収に協力

# 社告・リコール情報収集 8

## リコール製品による事故防止の取り組み

注意喚起ちらし(NITE)



**リコール製品情報を公開しています！**

リコール製品の情報は下記のサイトで容易に確認することができます。  
お持ちの消費生活用製品(家電、衣料品など)がリコール製品の場合、直ちに使用を中止して製造事業者等に問い合わせてください。

消費生活用製品、食料品などのリコール情報を公開

**①消費者庁  
[リコール情報サイト]**  
各省庁等がそれぞれ公表しているリコール情報を分野横断的に確認することができます。  
<http://www.recall.go.jp/>

**②独立行政法人国民生活センター  
[回収・無償修理等の情報]**  
事業者が新聞等に掲載した回収・無償修理等の情報を集めホームページで公開しています。  
<http://www.kokusen.go.jp/recall/recall.html>

公表後の情報活用



# 社告・リコール情報収集 9

## リコール製品による事故防止の取り組み

### ○事業者（製造、輸入事業者が主体）

- ・リスクアセスメントに基づきリコールを実施
- ・リコール実施後の周知徹底（実施がゴールではない）
- ・販売、施工事業者等の協力が不可欠 等

### ○行 政

- ・消費者庁が中心となって、網羅した情報発信
- ・家庭だけでなく教育現場への情報提供 等

※消費者が自主的にリコール情報を入手する意識を持つための社会作りへ

### ○消費者

- ・事業者への製品保有情報等の登録
- ・物件所有者などを介した情報提供網
- ・お持ちの製品がリコール製品とわかった場合は、使用を中止して事業者へ連絡する

リコール品とわかっていて利用し続けることは危険

### Ⅲ. 平成24年度事故事例及び注意喚起について

- 事故事例について
- 注意喚起について

# 事故事例について 1

## 扇風機

製品に起因する事故（事故原因区分A2:製造不良） 類似事故116件

(事故内容)

扇風機の首部分が折れた。

(被害状況)

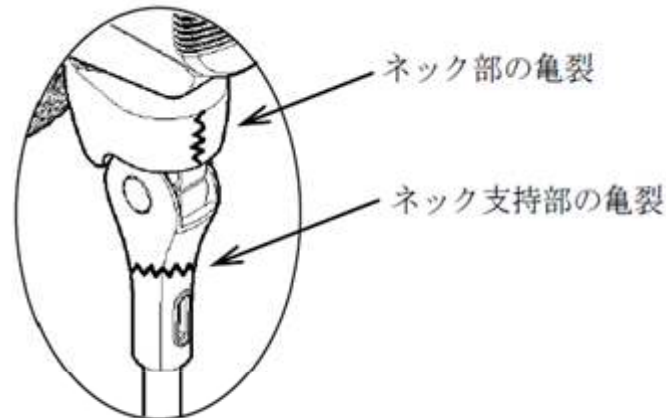
製品破損

(事故原因)

当該製品の、首部分(ABS樹脂製)の成形工程において、金型のゲート位置及び温度管理が不適切であったことから、過度な残留応力ひずみとなった箇所に応力集中による亀裂が発生し、さらに樹脂の充てん不足から強度が低下していたため、使用に伴う振動等によって亀裂が伸展し、破断に至ったものと推定される。

(講じられた再発防止措置)

輸入事業者は、ホームページに社告を掲載するとともに、連絡先が判明している購入者へ販売店を通じて連絡し、製品回収及び部品交換(無償)を実施している。また、金型ゲート位置を変更するなど、当該部品の成形工程を改善した。



## 事故事例について 2

# 石油給湯機

製品に起因する事故(重大製品事故) 類似事故累計77件

### (事故内容)

当該製品を使用中、湯温が下がったため確認すると、当該製品の前面カバー下部が外れ、その隙間から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。

### (被害状況)

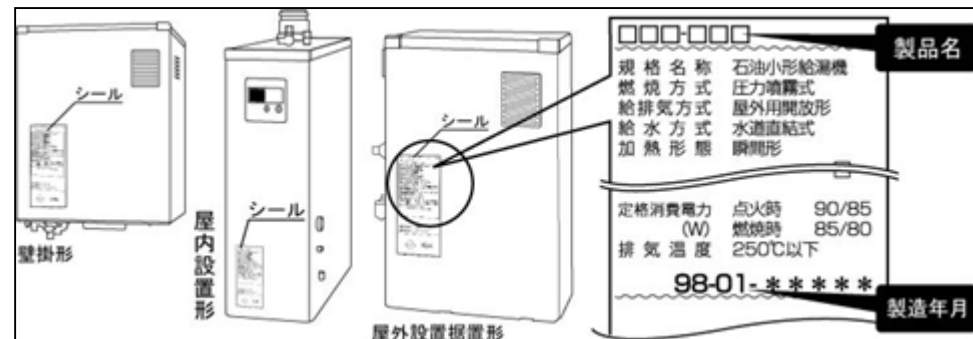
火災

### (事故原因)

調査の結果、当該製品の電磁弁に使用されているリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。

### (講じられた再発防止措置)

製造事業者は、無償改修を開始し、4年後再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を呼びかけています。



## 事故事例について 3

### ガス栓（誤解放）

誤使用・不注意による事故（事故原因区分E2：消費者の不注意）

（事故内容）

ガスこんろを使用中、ガス栓付近から出火し、ガスホースの一部が焦げた。

（被害状況）

拡大被害

（事故原因）

使用者が2口ガス栓の不使用側を誤って開にしたため、装着されていたキャップの隙間からヒューズ機構が作動しない程度のガスが漏洩し、滞留したガスにガスこんろの火が引火したものと推定される。



（NITEイメージ映像資料より）

# 事故事例について 4

## 製品の組合せで起きる事故

### (IH調理器 × 汚れ防止シート × 天ぷらなべ)

誤使用・不注意による事故 (事故原因区分E2: 消費者の不注意)

(事故内容)

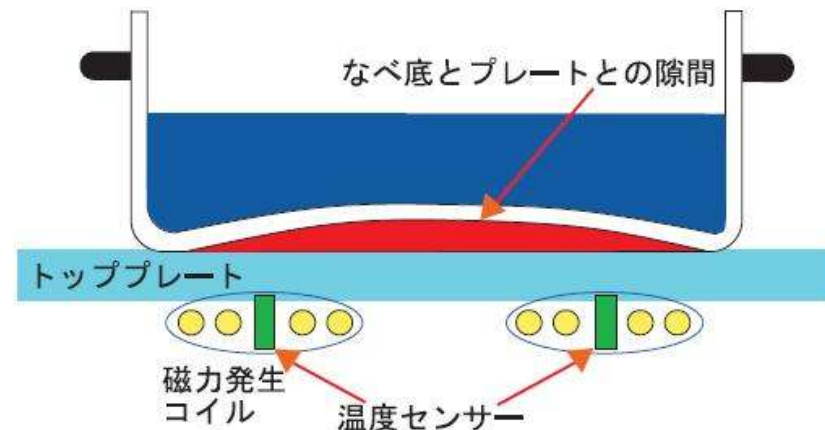
IH調理器と天ぷらなべの間に汚れ防止シートを敷き使用。その場を離れた間に天ぷら油が発火した。

(被害状況)

火災

(事故原因)

揚げ物モードを使わず使用したため、汚れ防止シートがなべの温度上昇で凸状に持ち上がり、IH調理器の制御が正常に作動せず、さらにその場を離れたため火災に至ったと推定される。



## 一昨年度は、ファンヒーター × ダクト × こたつ、で起きる

原因不明の事故 (事故原因区分G1: 原因不明)

# 注意喚起について 1

<http://www.nite.go.jp/jiko/press/index.html>

## <平成25年度>

平成25年10月24日 「冬の高齢者の事故防止」

平成25年 9月12日 「電動車いすによる事故の防止」

平成25年 8月29日 「洗濯機による事故の防止」

平成25年 7月25日 「夏の製品事故の防止」

「扇風機による事故の防止(再注意喚起)」

平成25年 6月27日 「ペット等の動物が関係する製品事故の防止」

「エアコン及び扇風機による事故の防止」

平成25年 5月30日 「屋外における子どもの事故の防止」

平成25年 4月25日 「自転車による製品事故の防止」

## <平成24年度>

平成25年 3月22日 「電気こんろによる事故の防止」

平成25年 2月21日 「ガスふろがま及び石油ふろがまの事故の防止」

平成25年 1月24日 「除雪機・はしご及び脚立の事故の防止」

「石油ストーブによる事故の防止(再注意喚起)」

平成24年12月20日 「ガスこんろ及びカセットこんろの事故の防止」

平成24年11月22日 「電気こたつ、電気カーペット及びゆたんぽの冬の事故の防止」

平成24年10月18日 「石油ストーブによる事故の防止」

「電源コード及び配線器具による事故の防止」

# 注意喚起について 2

発表日：平成25年5月30日(木)

## 屋外における子どもの事故の防止について(注意喚起)

子どもは成長とともに活動範囲が広がり、周りのものに広く興味をもつようになりますが、身体的にも感覚的にも発達途中であり危険に対する認識や知識が不十分なため、事故にあう危険性が高くなり、屋外においても多くの事故が発生しています。

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、0～14歳の子どもの被害にあった事故は、平成19年度から23年度までの5年間に、1,029件ありました。そのうち屋外では396件の事故が発生しています。また、発生時期をみると約半数が5～8月の4カ月間で発生しています。

事故発生状況を被害者の年齢別に層別すると、次のような事故が多く発生しています。

### (1) 乳幼児(0～3歳)

- ・ベビーカーの折り畳み部に子どもの指が挟まれた。
- ・ベビーカーの背もたれ部のねじが振動等で外れ、子どもが落下。

### (2) 幼児(4～6歳)

- ・自転車用幼児座席で、転倒等の衝撃や取り付け不備のため、足乗せ部が破損し、足が巻き込まれた。

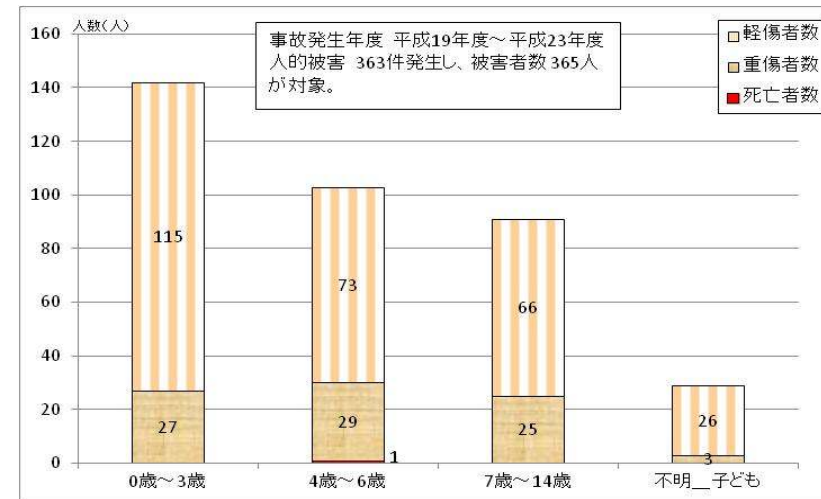
### (3) 小中学生(7～14歳)

- ・樹脂製サンダルとアクセサリーの留め具の間につめが入り込んだ。
- ・自転車の前輪に泥除けや傘等の異物を巻き込み転倒した。

子どもの事故は、子ども自身が起こす事故だけでなく、保護者がかわる事故も多くあります。屋外で遊ぶ等、外に出る機会が多くなる季節を迎え、保護者の方に注意していただくことで未然に防げる事故も多くあることから、注意喚起を行うこととしました。



月別発生件数



年齢別被害者数



# 注意喚起について 3

## 屋外での子どもの事故

### 事故の概要

【事例①】ベビーカーからずり落ち、くるぶしが前輪の間にはさまって軽傷を負った。(0~3歳)

【事例②】自転車用幼児座席の足乗せ部が脱落し、足が後輪に巻き込まれて重傷を負った。(4~6歳)

【事例③】自転車の前輪が突然ロックされ、投げ出されて頭部を強打した。(7~14歳)



### 事故の原因

【事例①】股と肩のベルトが緩んでいる状態で使用したため、身体が下方にずり落ち、くるぶしが前輪の間にはさまったものです。

【事例②】転倒等の衝撃で足乗せの取り付け部分に亀裂が発生し、使用中に繰り返される負荷により破損したものです。

【事例③】走行中、前輪に異物を巻き込んだため、ブレーキがかかったような状態になって転倒したものです。



### ⚠ 事故防止のために


◆ベビーカーの固定ベルトはきちんと装着してください。また、部品に亀裂やがたつきがないか確認してください。子どもが近くにいるときは、ベビーカーの開閉に注意してください。

◆自転車用幼児座席は、適切に取り付けてください。不安な場合、販売店に取り付けてもらってください。

◆自転車のハンドルに買い物袋を下げたり、傘等をつりさげて乗らないでください。車輪に巻き込まれると危険です。

◆リコール製品から事故が発生しています。リコール製品については、NITEホームページで検索することができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

nite 製品安全センター 

## 再現実験映像

### 事例①ベビーカーで指が挟まれる事故

ベビーカーの折り畳み部に  
子どもの指が挟まれた事故

NITE・製品安全センター

### 事例②足乗せ部がなく足が巻き込まれる事故

足のせ部がないために  
子どもの足が  
巻き込まれた事故

NITE製品安全センター

# 注意喚起について 4

## 事故の被害別件数について

NITEに通知された屋外における子どもの事故のうち、平成19年度から平成23年度までに発生した事故は396件あり、そのうち人的被害のあった363件の「被害状況別事故件数」を表に示します。

裂傷83件、打撲70件、擦過傷59件、骨折40件等が発生しています。

被害状況別事故件数

被害状況	死亡	重傷	軽傷	合計
裂傷	0	27	56	83
打撲	0	5	65	70
擦過傷	0	0	59	59
骨折	0	33	7	40
爪の剥がれ	0	3	25	28
内出血	0	0	25	25
やけど	0	7	9	16
挟まれ、腫れた	0	0	11	11
炎症	0	0	7	7
その他	1	9	14	24
合計	1	84	278	363

## 子どもの身体、生活構造等

### (1) 身体機能

- ・運動機能未発達(不十分)
- ・身長、体重の増加
- ・関節の可動域拡大

○発達に従って、注意するものが変化  
(布団などの柔らかいものによる窒息から、滑り台やブランコなどによる転落、打撲まで)

### (2) 生理機能

- ・排泄機能が未発達(不十分)
- ・体温調節機能が未発達(不十分)
- ・睡眠時間が長く、眠りが深い

○適切な室温管理が必要、通常の警報機では目を覚まさない

### (3) 心理特性

- ・新しいものに興味を示す
- ・行動範囲とともに興味の範囲が広がる

○なんでも口に入れる、手を突っ込む、穴に入る、高いところに登る、高いところにあるものをとろうとする等

### (4) 感覚機能

- ・温熱感覚機能が未発達(不十分)
- ・視覚・聴覚・嗅覚・触覚等が未発達(不十分)

○熱いもの、危ないものが判別できない

### (5) 生活構造

- ・行動範囲が徐々に広がる
- 危険な場所が徐々に拡大

以上、ISO/IEC gtfガイド50安全側面「子どもの安全の指針」を参考にNITE作成。

◆乳児とは、0歳のもの、幼児とは1歳から6歳の小学校就学まで(母子健康法)

# 注意喚起について 5

発表日：平成25年10月24日(木)

## 冬の高齢者の製品事故防止について(注意喚起)

高齢者の事故は、不注意や誤った使い方による「製品に起因しない事故」が多く、被害の程度も重篤になる傾向があります。また、これから冬に向かって事故件数が増加する傾向があり、事故防止のための注意が必要です。

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報のうち、高齢者の事故は、平成20年度から24年度までの5年間に2,108件ありました。(ただし、過去に注意喚起を行った電動車いすと介護用ベッド等の介護用品の事故(計194件)を除く)

被害状況別にみると、死亡事故149件、重傷事故265件、軽傷事故446件、拡大被害637件、製品破損等611件ありました。

事故発生状況を分類すると、次のような事故が多く発生しています。

### (1) ガスこんろ

- ・天ぷら等揚げ物を調理中に放置し、油が過熱されて発火した。
- ・グリル庫内に溜まった油脂等が発火した。

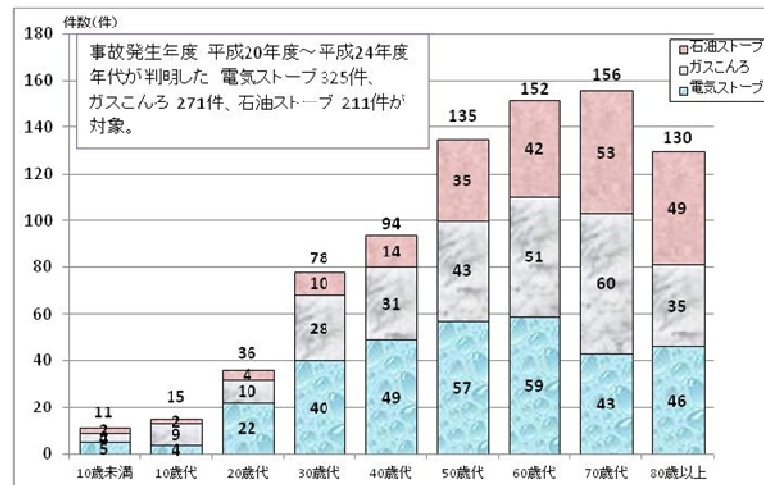
### (2) 石油ストーブ

- ・カートリッジタンクのふたの締め方が不十分で漏れた灯油にストーブの火が着火した。
- ・ストーブに洗濯物等が落下して着火した。

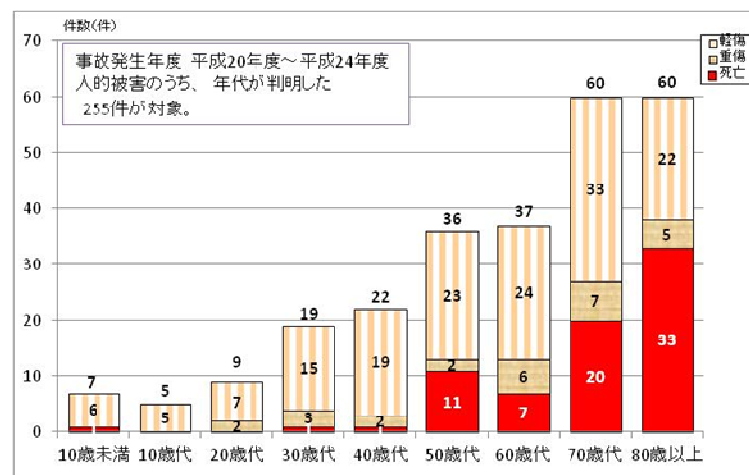
### (3) 電気ストーブ

- ・可燃物(衣類、布団等)が放射熱で過熱または接触して着火した。
- ・電源コードに過度の屈曲や荷重等が加わり、断線して発火した。

高齢者の事故において、「製品に起因する事故」は人的被害に至ることが比較的少ないものの、一方で「製品に起因しない事故」は重篤な人的被害に至ることが多くなっています。これらの不注意や誤った使い方による事故は、何気なく行っていることを注意していただくこと、あるいは高齢者ご本人や周りの方も含めて注意していただくことで、未然に防げる事故が多くあります。製品を正しく安全に使用して事故を防止するために、注意喚起を行うこととしました。



製品別の年代別事故件数



年代別人的被害 事故件数

# 注意喚起について 6

## 高齢者に多くみられる事故

### 事故の概要

【事例①】ガスコンロとその周辺が焼け、1人が死亡する火災が発生した。

【事例②】住宅が全焼して1人が死亡、1人が重傷を負った。現場に石油ストーブがあった。

【事例③】電気ストーブとその周辺が焼け、1人が死亡する火災が発生した。



### 事故の原因

【事例①】ガスコンロで調理中、衣服に火が燃え移ったものです。

【事例②】給油の際、カートリッジタンクのふたの締め方が不十分だったためにセット時にふたが外れました。その状態で点火操作




を行ったため、こぼれた灯油に着火したものです。



【事例③】電気ストーブを使用中、周囲の毛布や衣類などが触れて、発火したものです。

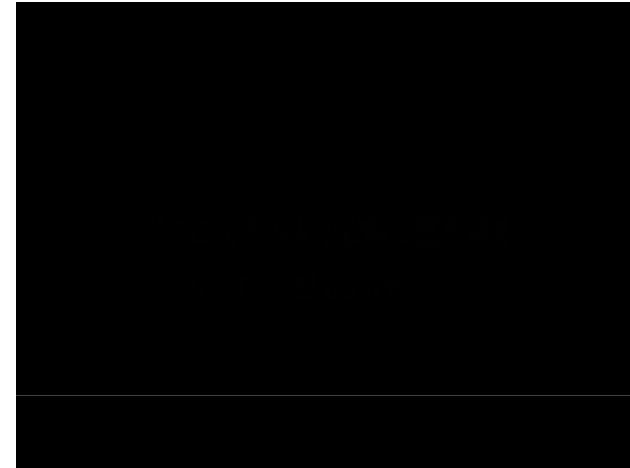
### ⚠ 事故防止のために

- ◆調理中は、ガスコンロに近づき過ぎないでください。火に直接触れていなくても、放射熱により着火することもあります。また、調理中はその場を離れないでください。
- ◆給油する際は、ストーブの火を消し、カートリッジタンクのふたを確実に締めてください。
- ◆ストーブの近くに布団やカーテン、新聞紙など可燃物を置かないでください。洗濯物の乾燥に利用しないでください。また、就寝時は使用しないでください。

nite 製品安全センター 

## 再現実験映像

事例① こんろの火が着衣に燃え移る



事例② 石油ストーブの燃焼筒のずれ



石油ストーブの事故

ずれた燃焼筒による異常燃焼

NITE・製品安全センター

# 注意喚起について 7

## 製品別事故件数について

「製品別事故件数の順位」を表に示します。高齢者比とは60歳未満の事故も含めた使用者の年代が判明した事故件数に対する高齢者の事故の割合です。(高齢者比＝高齢者の事故件数/年代の判明した事故件数)

高齢者の事故は、「ガスこんろ」が最も多く162件、次に「石油ストーブ」161件、「電気ストーブ」150件の順になっています。

製品別事故件数の順位

品名	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし	合計	高齢者比
①ガスこんろ (ガス栓含む)	16	5	38	81	16	6	162	56.3%
②石油ストーブ	30	11	37	66	13	4	161	71.2%
③電気ストーブ	21	2	11	55	54	7	150	45.9%
④照明器具		3	6	17	52	1	79	45.1%
⑤配線器具	6	1	5	29	21		62	36.9%
⑥自転車	1	23	25	1	10	1	61	15.3%
⑦石油温風暖房機	12	4	15	16	6	8	61	53.5%
⑧電子レンジ	1	1	2	11	42	4	61	44.2%
⑨いす		24	26		9	1	60	35.9%
⑩その他	62	191	281	361	316	40	1,251	32.4%
合計	149	265	446	637	539	72	2,108	35.3%

## 高齢者の事故の防止について

高齢者には次のような身体機能や生活スタイルの特徴があり、事故防止のために注意が必要です。

### ①運動機能の低下

運動機能が低下するので、運動機能の低下を補う機器(電動車いす、介護ベッド、杖など)の使用機会が増える。握力が下がり、ストーブのカートリッジタンクのふたをきちんと締めにくくなる。

### ②体温調節機能の低下

冷暖房機器の使用が増え、やけどや火災事故が増える。

### ③感覚機能の低下

視覚、聴覚、嗅覚、触覚、温熱感覚が衰え、反応、危険察知が遅くなる。異臭、異音等、製品の異常に気がつきにくくなる。火が燃え広がった際にも反応が遅れ、被害が大きくなりやすくなる。低温やけどが起きやすくなる。注意力が散漫になり、思わぬミスをすることもある。天ぷらの調理中に放置等、度忘れが起きやすくなる。

### ④心理機能

新しいもの(新製品)への対応に時間が掛かる。自己流の使用法に固執する。機器が古くなったり、故障したまま使い続ける傾向もある。古くなった灯油も使い続けようとする。

### ⑤生活構造

余暇時間が長く、住居内での生活時間が増え、居間、台所、浴室、トイレでの事故が増加する。

## IV. N I T Eホームページによる公表

- 製品安全センターのホームページ
- 注意喚起リーフレット
- 注意喚起ちらし
- ミニポスター(一部動画付き)
- 身・守りハンドブック 2013
- 教育DVDハンドブック
- 生活安全ジャーナル
- 製品安全情報マガジン〈PSマガジン〉
- プレスリリース
- 最新事故情報

# 製品安全センターのホームページ

製品事故防止の注意喚起について、様々な素材を用意しています。  
画像などのファイルを取り出してご利用いただけます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

**製品安全・事故情報**

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>
- 報告書 >>
- リンク集 >>

**製品安全・事故情報**

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>
- 報告書 >>
- リンク集 >>
- 立入検査 >>
- 原因究明機関ネットワーク総覧 >>
- 製品安全講座 >>
- 製品安全ガイド(経済産業省) >>
- 製品安全点検日セミナー >>
- 自己適合宣言書 >>

nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全分野  
製品に関する事故情報や高齢者・障害者に配慮した国際・国内規格・技術データなどの情報を提供しています。

社告・リコール | ポスター動画 | 最新事故情報 | 事故情報データベース

製品安全・事故情報

消費生活用製品(家庭用電気製品、燃焼器具、乗物、レジャー用品、乳幼児用品等)の欠陥等により人的被害が生じた事故、人的被害が発生する可能性の高い物的事故、及び製品の欠陥により生じた可能性のある事故に関する情報を提供しています。

<p>注意喚起リーフレット</p> <p>季節別に発生する事事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレットです。</p>	<p>注意喚起ちらし</p> <p>事故防止のポイントやリコール社告を中心に更にわかりやすく説明したちらしです。</p>	<p>ミニポスター(一部動画つき)</p> <p>NITEで収集した事故情報を基に作成したミニポスター(及び再現動画[.swf])です。「注意喚起リーフレット」等と一緒にご利用ください。</p>
<p>身・守りハンドブック(誤使用防止ハンドブック)</p> <p>誤使用事故を防止する目的で、消費者用、事業者用の2つのハンドブックを作成しました。</p>	<p>生活 nite 安全 ジャーナル</p> <p>国民のくらしの安全・安心のため、広く製品安全情報を提供する総合誌です。</p>	<p>製品安全情報マガジン ～配信登録はこちらから～</p> <p>製品安全に関する情報をタイムリーに提供しています。</p>

● 標準化の推進

● 電気工事士講習/ガス工事監督者講習(当機構における法定講習業務は終了しました)

製品事故の未然・再発防止の観点で、消費者用

NITEでは、約50万人の第1種電気工事士と約4万人のガス消費機器設置工事監督者に対し、

# 注意喚起リーフレット

季節毎の注意喚起リーフレット、製品別の社告・リコールリーフレットを作成しています。

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>

## 注意喚起リーフレット

製品評価技術基盤機構（NITE）で収集した事故情報の中から、リコール情報をまとめたリーフレットと、季節別に発生した事故事例とその事故防止のポイントをわかりやすくまとめたリーフレットを作成いたしました。

無償ダウンロードできますので、ご利用ください。（※白黒印刷にも対応しています。）

**製品安全・事故情報**

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[注意喚起リーフレット](#) >>

[注意喚起ちらし](#) >>

[注意喚起リンク集](#) >>

[ミニポスター（一部動画付）](#) >>

[身・守りハンドブック](#) >>

[教育DVDハンドブック](#) >>

[生活安全ジャーナル](#) >>

[製品安全情報マガジン（PSマガジン）](#) >>

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[What's New](#) >>

[プレスリリース](#) >>

[特記ニュース](#) >>

[最新事故情報](#) >>

[事故情報の検索](#) >>

[社告・リコール情報](#) >>

[社告・リコールの検索](#) >>

[報告書](#) >>

[リンク集](#) >>

●●リーフレットカテゴリ●●

社告・リコール

季節別の事故

### ●夏の事故●

#### ●社告・リコールのリーフレット●

お持ちの製品がリコール対象製品でないか、リーフレットで確認をお願い致します。  
「回収」、「交換」、「改修（点検、修理、部品の交換等）」が必要な製品、又は使用についての「注意喚起」を行っている製品をまとめています。



電池の社告・リコール

(PDF型式578KB)  
2012/07/19

照明器具の社告・リコール

(PDF型式673KB)  
2012/07/19

電気・ガス乾燥機の社告・リコール

(PDF型式529KB)  
2012/05/24

除湿機の社告・リコール

(PDF型式320KB)  
2012/05/24



# 注意喚起ちらし

時期に合った事故事例と、最近のリコール情報の  
ちらしを毎月作成しています。

<http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/chirashi.html>

## 注意喚起ちらし

製品評価技術基盤機構(NITE)で収集した事故情報から、実際に起こった事故事例と注意喚起をわかりやすく説明したちらし「こんな事故にもご用心」と、最近公表されたリコール情報を抜粋したちらし「リコールなど注意を呼びかけています」を掲載しています。  
どちらのちらしも無償でダウンロードできますので、ご利用ください。(白黒印刷可)

過去のちらし：平成24年度・平成23年度・平成22年度・平成21年度

平成25年度発行分：

定期発行：No.44、No.45、No.46、No.47、No.48、No.49

最新号No50：こんな事故にもご用心(2013.10.15)

下の画像をクリックすると、拡大してご覧いただけます。

印刷用PDF(715KB)ダウンロードはコチラをクリック



nite-製品安全センター

**製品安全・事故情報**

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>**
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>
- 報告書 >>
- リンク集 >>

## こんな事故にもご用心 (No.50) 事故ナイト いいね

電動車いすは運転操作に慣れてから使用してください

**カーブで側溝に転落**  
**事例** 緩やかなカーブを走行中、交差点手前にある左側の側溝に転落し、重傷を負った。(2009年8月 三重県)  
**原因** 踏んで傾斜した路肩に侵入したため、側溝に転落したものです。  
 側溝に落ちた動きとれないタイヤ

**踏切で電車と接触**  
**事例** 踏切内で電動車いすが停止したために電車と接触し、重傷を負った。(2009年8月 熊本県)  
**原因** バッテリーの残量が少ない状態で乗車したため、踏切内でバッテリーが切れて停止したものです。

**下り坂で転倒**  
**事例** 下り坂を走行中、カーブを曲がりきれなかったために転倒してけがをした。(2009年9月 広島県)  
**原因** 坂道で、速度調節ダイヤルを低速に合わせていなかったためにスピードが出過ぎ、急ハンドル操作を行ったため、転倒したものです。

**電動車いすの操作ミスによる死亡・重傷事故が多く発生しています。特に購入時やレンタル、代車使用の場合は十分に練習してから運転してください。路肩や砂利道などの未舗装の道路、濡れて滑りやすい場所は走行を控えてください。また、段差に乗り上げて転倒、負傷する事例もありますので注意してください。乗車前は、バッテリーの残量の確認など日常点検をしてください。**

**故障中の電子レンジから出火**  
**事例** 使用中の電子レンジから出火した。(2012年6月 愛知県)  
**原因** 電子レンジは、半年前から回転音が動かないという故障状態のまま使用が続けていました。そのため、回転台のローラ付近に電波が集中し、ローラの破損に伴い回転台と庫内下面の間で火花が出て周辺に着火したものです。

**発電機で一酸化炭素中毒**  
**事例** 発電機を使用していた部屋で2人が倒れているところを発見された。病院に搬送後、1人が死亡、もう1人が一酸化炭素中毒と診断された。(2011年3月 宮城県)  
**原因** 窓を閉め切った屋内で発電機を使用していたため、排気ガスがこもって一酸化炭素中毒になったものです。

**故障中の製品を使い続けたために、故障部分等に負荷がかかり発火するなど事故が発生しています。また、エラー表示が出るなど不具合や異常を感じたら使用を中止して、販売店や製造事業者などに連絡してください。**

**発電機の排気ガスは一酸化炭素を含んでいるため、室内で使用しないでください。屋外でも換気の悪いところでは注意してください。燃料は引火性が強い危険物のため、火気の近くでは絶対に使わないでください。**

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

nite-製品安全センター  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-81 大阪合同庁舎第2号館別棟  
 TEL 06-6942-1113 FAX 06-6948-7280

# ミニポスター(一部動画付)

注意喚起テーマ毎の事故事例を含むポスターとイメージ動画を提供します。

<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/poster.html>

## ポスターカテゴリー一覧

家庭用電気製品

燃焼器具

その他

## 製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆
- [注意喚起リーフレット](#) >>
- [注意喚起ちらし](#) >>
- [注意喚起リンク集](#) >>
- [ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>**
- [身・守りハンドブック](#) >>
- [教育DVDハンドブック](#) >>
- [生活安全ジャーナル](#) >>
- [製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>
- ◆◆◆◆◆
- [What's New](#) >>
- [プレスリリース](#) >>
- [特記ニュース](#) >>
- [最新事故情報](#) >>
- [事故情報の検索](#) >>
- [社告・リコール情報](#) >>
- [社告・リコールの検索](#) >>
- [報告書](#) >>
- [リンク集](#) >>

## 家庭用電気製品ポスター-INDEX

- |                              |                               |                                |                               |
|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <a href="#">▶ 1-1 扇風機1</a>   | <a href="#">▶ 1-2 テレビ</a>     | <a href="#">▶ 1-3 温水洗浄便座</a>   | <a href="#">▶ 1-4 ヘヤドライヤー</a> |
| <a href="#">▶ 1-5 電源プラグ</a>  | <a href="#">▶ 1-6 水槽用ヒーター</a> | <a href="#">▶ 1-7 テーブルタップ</a>  | <a href="#">▶ 1-8 電気こんろ1</a>  |
| <a href="#">▶ 1-10 突沸</a>    | <a href="#">▶ 1-11 電源コード1</a> | <a href="#">▶ 1-12 電源コード2</a>  | <a href="#">▶ 1-13 洗濯物</a>    |
| <a href="#">▶ 1-15 洗濯機</a>   | <a href="#">▶ 1-16 扇風機2</a>   | <a href="#">▶ 1-17 シュレッダー</a>  | <a href="#">▶ 1-18 電気ストーブ</a> |
| <a href="#">▶ 1-19 こたつ1</a>  | <a href="#">▶ 1-20 電源コード3</a> | <a href="#">▶ 1-21 扇風機3</a>    | <a href="#">▶ 1-22 エアコン1</a>  |
| <a href="#">▶ 1-23 IHこんろ</a> | <a href="#">▶ 1-24 電子レンジ</a>  | <a href="#">▶ 1-25 乾燥機</a>     | <a href="#">▶ 1-26 照明器具</a>   |
| <a href="#">▶ 1-27 電池</a>    | <a href="#">▶ 1-28 こたつ2</a>   | <a href="#">▶ 1-29 電気カーペット</a> | <a href="#">▶ 1-30 電気こんろ2</a> |

<h3>1-1 扇風機1</h3> <h4>扇風機からの出火</h4> <p><b>事故の概要</b> 【事故概要】 扇風機で扇風機を修理中に扇風機が止まると同時に扇風機から出火した。ファンモーターの配線が断線し、扇風機が停止した。 【事故原因】 修理中の扇風機が断線して下に着いていた人が髪が焦傷し、顔に火傷を負った。</p> <p><b>事故の経過</b> どちらの事故も扇風機修理作業による。ファンモーターの配線が断線し、扇風機が停止した。扇風機が停止したことでファンモーターから扇風機が断線し、扇風機が停止した。</p> <p><b>事故防止のために</b> 扇風機修理作業中は、必ず電源を切ってください。 扇風機修理作業中は、必ず電源を切ってください。</p> <p><b>ミニポスター用イメージ動画</b> 1. 動画</p>	<h3>1-2 テレビ(ブラウン管型)</h3> <h4>テレビ(ブラウン管型)からの出火</h4> <p><b>事故の概要</b> テレビ(ブラウン管型)から出火して、天井を燃焼。テレビが天井の一部および天井の床まで焦げ付きと電子レンジが壊れた。</p> <p><b>事故の原因</b> 扇風機修理中に20年以上に亘り、ブラウン管型テレビが修理不良となり、電源が断線し、付帯の部品に火がつき天井カーペットを燃やした。</p> <p><b>事故防止のために</b> 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。</p> <p><b>ミニポスター用イメージ動画</b> 1. 動画</p>	<h3>1-3 温水洗浄便座</h3> <h4>温水洗浄便座の発火事故</h4> <p><b>事故の概要</b> 温水洗浄便座から煙が出て、便座部分が焦げた。前日から便座スイッチが壊れていたが、事故当日は直った。</p> <p><b>事故の原因</b> 便座修理中の電源コードが修理時の誤作動により断線し、便座部分が焦げた。前日から便座スイッチが壊れていたが、事故当日は直った。</p> <p><b>事故防止のために</b> 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。</p> <p><b>ミニポスター用イメージ動画</b> 1. ドライヤーコードの発火 2. ドライヤーコードの発火</p>	<h3>1-4 ヘヤドライヤー</h3> <h4>ヘヤドライヤーからの出火</h4> <p><b>どんな事故?</b> ヘヤドライヤーで髪を乾かす際、電源コードが断線し、髪が焦げた。前日から電源スイッチが壊れていたが、事故当日は直った。</p> <p><b>なぜ?</b> 本機が故障したため電源コードが断線し、髪が焦げた。前日から電源スイッチが壊れていたが、事故当日は直った。</p> <p><b>事故防止のために</b> 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。 【重要事項】修理作業中は、必ず電源を切ってください。</p> <p><b>ミニポスター用イメージ動画</b> 1. ドライヤーコードの発火 2. ドライヤーコードの発火</p>
---	--	--	--

# 身・守りハンドブック 2013

[http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou\\_handbook.html](http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.html)

製品安全・事故情報
◆◆◆◆◆◆◆◆
<a href="#">注意喚起リーフレット</a> >>
<a href="#">注意喚起ちらし</a> >>
<a href="#">注意喚起リンク集</a> >>
<a href="#">ミニポスター(一部動画付)</a> >>
<b><a href="#">身・守りハンドブック</a> &gt;&gt;</b>
<a href="#">教育DVDハンドブック</a> >>
<a href="#">生活安全ジャーナル</a> >>
<a href="#">製品安全情報マガジン(PSマガジン)</a> >>
◆◆◆◆◆◆◆◆
<a href="#">What's New</a> >>
<a href="#">プレスリリース</a> >>
<a href="#">特記ニュース</a> >>
<a href="#">最新事故情報</a> >>
<a href="#">事故情報の検索</a> >>
<a href="#">社告・リコール情報</a> >>
<a href="#">社告・リコールの検索</a> >>
<a href="#">報告書</a> >>
<a href="#">リンク集</a> >>



消費者に向けた製品事故防止のための事故事例集です。  
イラストを加えわかりやすい説明を心がけています。

**自転車用幼児座席** かかるとにけが

自転車で走行中、幼児座席の足乗せ部分が脱落し、子どもの足が車輪に巻き込まれてけがをした。(2012年5月 兵庫県)

**なぜ?**  
足乗せ部を本体にとめるフックが浮いた状態で、転倒などの衝撃で取付板が変形していました。そこに、使用によって負荷がかかり、破損したものです。



**チェック!**

乗物は、乗車時に必ず点検をしましょう。  
幼児座席の取り付けは正確に行ってください。不安な場合は、販売店で取り付けてもらいましょう。

# 教育DVDハンドブック

若い人に製品事故を知っていただくこと  
ホームドラマに仕立てた注意喚起のビデオ教材です。  
ご家庭、地域でもご利用ください。

<http://www.nite.go.jp/jiko/dvdhandbook/index.html>

## 製品安全教育DVDハンドブック —くらしの中の身近な製品事故—

### 製品安全・事故情報



[注意喚起リーフレット](#) >>

[注意喚起ちらし](#) >>

[注意喚起リンク集](#) >>

[ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>

[身・守りハンドブック](#) >>

[教育DVDハンドブック](#) >>

[生活安全ジャーナル](#) >>

[製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>



[What's New](#) >>

[プレスリリース](#) >>

[特記ニュース](#) >>

[最新事故情報](#) >>

[事故情報の検索](#) >>

[社告・リコール情報](#) >>

[社告・リコールの検索](#) >>

[報告書](#) >>

[リンク集](#) >>

### 小学校高学年向け



[こんろの事故](#)

[石油ストーブの事故](#)

[電子レンジの事故](#)

[配線の事故](#)

[電池の事故](#)

「くらしの中の身近な製品事故」小学校高学年向けは、(財)消費者教育支援センターの「第5回消費者教育教材資料表彰(行政)」で優秀賞受賞

### 中学生以上対象



[スプレー缶の事故](#)

[燃焼器具の事故](#)

[ヘアドライヤーの事故](#)

[低温やけどの事故](#)

[IHこんろの事故](#)

・当ハンドブックでは、NITEが収集した事故情報から家庭で起きた身近な製品事故の5つのテーマを取り上げ、事故の危険性と対処方法を「読本」とDVDで紹介しています。

「読本」には授業においてテーマごとに児童・生徒と話し合う際のヒントや製品事故発生時の注意点を記述しています。また、DVDにはテーマごとに製品事故に至る過程、事故再現実験、注意事項の順で構成された映像を収録しています。

・学校内の事故を防止するために、注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために」を作製いたしましたので、DVDと併せてご活用ください。

[注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために Vol.4」](#)

[注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために Vol.3」](#)

[注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために Vol.2」](#)

[注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために Vol.1」](#)

# 生活安全ジャーナル

製品安全に関する総合情報誌です。  
第15号は「ユニバーサルデザイン」を  
特集しました。

<http://www.nite.go.jp/jiko/journal/index.html>

## 生活安全ジャーナル

「生活安全ジャーナル」は、国民のくらしの安全・安心のため、広く製品安全情報を提供する総合誌です。事業者においてはより安全な製品の提供、研究機関においては製品安全に係る研究、PLセンター等においては紛争処理等にご活用いただければと思います。皆様のご愛読をお願いします。  
※ 第7号より、冊子による発行をとりやめ、NITEホームページ上のみの掲載とさせていただきます。

### 最新号



第15号(平成25年7月)

特集 ユニバーサルデザインと安全な暮らし

- 特集に向けて
- NITEデータベースにみる～ユニバーサルデザインと安全な暮らし
- ユニバーサルデザインと安全な暮らし

○静岡県ユニバーサルデザイン推進協議会  
【第1号】

【第2号】

- ユニバーサルデザインと安全な暮らし
- ユニバーサルデザインと安全な暮らし

NITE安全の視点

- 事故動向等について  
平成24年度
- 社会・リコール情報

安全研究

- 公共トイレの便器
- 「自然に学ぶ」施設

コラム

- 製品安全だよりの
- セーフティファイ

画面トップへ戻る

この生活安全ジャーナルまでお願いいたします

特集

## ユニバーサルデザインと安全な暮らし

今号の特集は、「ユニバーサルデザインと安全な暮らし」がテーマです。ユニバーサルデザインは事業者の製品設計・開発に取り入れられるほか、自治体などでも暮らしやすい街づくりの観点から道路や公共施設などに幅広く採用されています。

特集では、公益法人、自治体、事業者それぞれの立場から「ユニバーサルデザイン」をテーマに執筆していただきました。NITEのデータベース分析では、60歳以上の「高齢者」の事故を取り上げます。『誰もが使える』『使い方がすぐ分かる』『うっかりミスが危険につながらない』などのユニバーサルデザインの特集を持った製品は、高齢者の事故防止への効果も期待されます。

**製品安全・事故情報**

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起チラシ >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>**
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社会・リコール情報 >>
- 社会・リコールの検索 >>
- 報告書 >>
- リンク集 >>

特集 ユニバーサルデザインと安全な暮らし

特集に向けて

生活安全ジャーナル編集事務局

ユニバーサルデザインは、1980年代にアメリカのノースカロライナ州の州立大学で、レイ・ヒル教授が世界に呼びかけたものです。それまでは、身体等の不自由な人たちが障害者として、可能な限り普通の生活を送る権利があるとする福祉先進国のデンマークを中心に北欧で広まった「ノーマライゼーション」の考え方やバリアフリーデザインなどがあがりました。レイ・ヒル教授が提唱したユニバーサルデザインは、製品だけではなく、生活空間とそれを取る建物の環境や都市なども考慮して、誰もが暮らしやすい社会を構築しようというものです。それは、身体等の不自由な人の自己実現を支え、高齢者にとっては身体的能力等の減退を補完、さらには女性の社会参画を助けるなどさまざまな側面でも社会を支えるものです。

日本では、1995年ごろからユニバーサルデザインという言葉が使われ始め、自治体や企業でも取り入れられるようになり、製品だけでなく公共施設などユニバーサルデザインの考えのもとで設計されるようになってきました。

NITEでは、目の不自由な人の歩行のための点字ブロックを標準化しました。ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、1980年代にアメリカのノースカロライナ州の州立大学で、レイ・ヒル教授が世界に呼びかけたものです。それまでは、身体等の不自由な人たちが障害者として、可能な限り普通の生活を送る権利があるとする福祉先進国のデンマークを中心に北欧で広まった「ノーマライゼーション」の考え方やバリアフリーデザインなどがあがりました。レイ・ヒル教授が提唱したユニバーサルデザインは、製品だけではなく、生活空間とそれを取る建物の環境や都市なども考慮して、誰もが暮らしやすい社会を構築しようというものです。それは、身体等の不自由な人の自己実現を支え、高齢者にとっては身体的能力等の減退を補完、さらには女性の社会参画を助けるなどさまざまな側面でも社会を支えるものです。

日本では、1995年ごろからユニバーサルデザインという言葉が使われ始め、自治体や企業でも取り入れられるようになり、製品だけでなく公共施設などユニバーサルデザインの考えのもとで設計されるようになってきました。

NITEでは、目の不自由な人の歩行のための点字ブロックを標準化しました。ユニバーサル

ユニバーサルデザインの観点から、この点字ブロックをより認識しやすいように、両側に点字ブロックを設置してより分かりやすくしている自治体もあります。こうした利用者の立場で工夫や配慮をすることにより、暮らしやすい社会に近づけることができます。

多種多様な製品が登場し、暮らしを豊かで快適なものにしています。そこで、今後社会の暮らしに組み込まれていくユニバーサルデザインが一つの大きな役割を果たすとの観点から、今号は超高齢社会に向け、「ユニバーサルデザイン」の一層の普及と拡大の道筋を考えていきたいと思います。

そこで、今号の「NITEデータベースにみるユニバーサルデザインと安全な暮らし」では、「高齢者の事故」を分析します。図1に「年代別被害状況別収集割合」、「年代別被害状況別収集割合(人の被害のみ)」を図示します。図1では、年代が高くなるほど死亡事故や重傷事故の割合が増加すること、図2では高齢者の被害が重篤になる傾向がそれぞれうかがえます。

図1 年代別被害状況別収集割合

図2 年代別被害状況別収集割合(人の被害のみ)

生活安全ジャーナル 2013年7月 Vol.15 3

# 製品安全情報マガジン<PSマガジン>

タイムリーな製品安全情報をお届けするメールマガジンです。  
配信登録いただければ、月2回最新情報をお届けします。

<http://www.nite.go.jp/jiko/psm/index.html>

## 製品安全情報マガジン (PSマガジン)

製品評価技術基盤機構(NITE)では、NITEに集約される製品安全に関する情報を製品事故の未然・再発防止の観点から、製品安全情報マガジン(PSマガジン)によってタイムリーに提供しています。毎月第2・4火曜日に配信しています。

**製品安全・事故情報**

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

注意喚起リーフレット >>

注意喚起ちらし >>

注意喚起リンク集 >>

ミニポスター(一部動画付) >>

身・守りハンドブック >>

教育DVDハンドブック >>

生活安全ジャーナル >>

**製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>**

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

What's New >>

プレスリリース >>

特記ニュース >>

最新事故情報 >>

事故情報の検索 >>

社告・リコール情報 >>

社告・リコールの検索 >>

報告書 >>

リンク集 >>



新規に配信を希望  
してください。

登録変更・解除

登録内容の確認・変更、メール配信の停止  
を希望される方はこちらからお願いします。\*

バックナンバー			
2013	2012	2011	2010
2006	2005		
<b>2013年</b>			
- Vol.203	10月22日号	「調理器具による事故」	
- Vol.202	10月08日号	「スポーツ用品による事故」	
- Vol.201	9月24日号	「介護用品による事故」	
- Vol.200	9月10日号	「電動車いすによる事故」	
- Vol.199	8月27日号	「洗濯機による事故」	
- Vol.198	8月13日号	「冷却用品による事故」	
- Vol.197	7月23日号	「花火による製品事故」	
- Vol.196	7月9日号	「ペットによる事故」	

2013.10.22 VOL.203

===== PSマガジン (製品安全情報マガジン) =====

製品安全についての情報をお届けします。  
(第2・4火曜日発行)

>>>.....

NITE(ナイト)[独立行政法人製品評価技術基盤機構]  
製品安全センター

日中でも、半袖では肌寒く感じる季節となりました。日照時間の短縮や冬に向けて茶釜を蓄えようとする本能などから、食欲が増進するとされる「味覚の秋」。今回は調理器具による事故をご紹介します。

-----

項目一覧

-----

- 調理器具による事故
- 製品事故収集情報 (10月2日～10月15日 受付120件)
- 社告・リコール情報 (2件)
- NITEからのお知らせ
  - 平成25年度製品安全業務報告会の開催
  - 事故情報収集制度における事故情報の調査結果
  - 注意喚起ちらしの追加について
- その他の製品安全情報
  - 有限会社グローバルトラストが輸入した石油ストーブの技術基準違反について (注意喚起)
  - 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について
- 編集後記

=====

1. 調理器具による事故

=====

(事例1) 【IH調理器】  
IH調理器を使用して揚げ物調理中、なべから発火した。

→ 少量の油で揚げ物調理を行ったため、油の急激な温度上昇によって安全装置の作動が遅れ、さらに使用者がその場を離れていたことから、油が発火したものと推定されます。

-----

(事例2) 【電気炊飯器 (高圧力で炊飯できるもの)】  
炊飯後の炊飯器のふたが開かないのでフックボタンを強く押したところ、ふたが勢いよく開いておかげが左手の甲にかかり、やけどを負った。

# プレスリリース

毎月第四木曜を目途に、蓄積した製品事故情報を分析し、注意喚起のための報道関係者への説明会を行っています。

<http://www.nite.go.jp/jiko/press/index.html>

## ■ プレスリリース

### 製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- [注意喚起リーフレット](#) >>
- [注意喚起ちらし](#) >>
- [注意喚起リンク集](#) >>
- [ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>
- [身・守りハンドブック](#) >>
- [教育DVDハンドブック](#) >>
- [生活安全ジャーナル](#) >>
- [製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>
- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- [What's New](#) >>
- [プレスリリース](#) >>**
- [特記ニュース](#) >>
- [最新事故情報](#) >>
- [事故情報の検索](#) >>
- [社告・リコール情報](#) >>
- [社告・リコールの検索](#) >>
- [報告書](#) >>
- [リンク集](#) >>

### <平成25年度>

・平成25年10月24日「冬の高齢者の製品事故防止」についてプレスリリースを行いました。

・平成25年9月12日「電動車いすによる事故の防止」についてプレスリリースを行いました。

・平成25年8月

・平成25年7月

・平成25年6月

・平成25年5月

・平成25年4月

### <平成24年>

・平成25年3月

#### 冬の高齢者の製品事故防止について(注意喚起)

平成25年10月24日  
独立行政法人製品評価技術基盤機構

NITE(ナイト:独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長:安井 至)は、別添のとおり、冬の高齢者の製品事故防止について記者説明会を行いました。

#### 報道発表資料

発表日: 平成25年10月24日(木)

タイトル: 冬の高齢者の製品事故防止について(注意喚起)

発表者名: 製品安全センター

資料の概要: 高齢者の事故(※1)は、不注意や誤った使い方による「製品に起因しない事故」が多く、被害の程度も重篤になる傾向があります。また、これから冬に向かって事故件数が増加する傾向があり、事故防止のための注意が必要です。

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報(※2)のうち、高齢者の事故は、平成20年度から24年度までの5年間に2,108件ありました。(※3)(ただし、過去に注意喚起を行った電動車いすと介護用ベッド等の介護用品の事故(計194件)を除く)被害状況別にみると、死亡事故149件、重傷事故265件、軽傷事故446件、拡大被害(※4)637件、製品破損等611件ありました。

≫報道各位へのお知らせ(PDFファイル 116KB)※10月21日付

≫説明資料(PDFファイル 1.0MB)

≫ポスター:高齢者に多くみられる事故

≫石油ストーブ・リコールリーフレット

≫電気ストーブ・リコールリーフレット

≫ハロゲンヒーター・リコールリーフレット

≫事故情報データベースへ

# 最新事故情報

毎週金曜日に、NITEが受け付けた製品事故情報を、PDFファイルで公表しています。  
受付情報の速報であり、この後調査を進めます。

<http://www.nite.go.jp/jiko/sokuho/index20.html>

## 最新事故情報

**製品安全・事故情報**

- ◆◆◆◆◆◆◆◆
- [注意喚起リーフレット](#) >>
- [注意喚起ちらし](#) >>
- [注意喚起リンク集](#) >>
- [ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>
- [身・守りハンドブック](#) >>
- [教育DVDハンドブック](#) >>
- [生活安全ジャーナル](#) >>
- [製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>
- ◆◆◆◆◆◆◆◆
- [What's New](#) >>
- [プレスリリース](#) >>
- [特記ニュース](#) >>
- [最新事故情報](#) >>**
- [事故情報の検索](#) >>
- [社告・リコール情報](#) >>
- [社告・リコールの検索](#) >>
- [報告書](#) >>
- [リンク集](#) >>

ここで提供しております情報は、以下の制約がありますのでご注意ください。

1. 当該データはNITEでの受付情報速報です。
2. 今後の追加情報、事故調査の進展等により、内容に変更があり得ます。
3. また、製品事故でないことが判明した場合は、情報を削除することがあります。

※調査の終了した事故情報(報告書ベース)については「[事故情報の検索](#)」でご覧下さい。

### <平成25年度>

- No.21-27 平成25年9月4日～10月22日
- No.11-20 平成25年6月19日～9月3日
- No.01-10 平成25年3月19日～6月11日

### <平成24年度>

平成24年度受付情報

NITEが収集した最新の製品事故情報(平成25年●月●日から●月●日までの受け付け分)をお知らせします。  
ここでの情報は、速報情報ですので今後の追加情報、事故調査の進展等により、内容に変更があり得ます。  
また、製品事故でないことが判明した場合は、情報を削除することがあります。

No.	事故受付日	品名	事故発生日	事故通知内容	被害状況		事故発生場所	備考
					物的被害	人的被害		
H25-27	2013/●/●	電気こんろ 【電気こんろ】	2013/●/●	電気こんろの電源コード部分から発煙した。原因を調査中。	製品破損		東京都	AAAA社 A-〇〇 13/00/00に社告。
H25-26	2013/●/●	空気清浄機 【空気清浄機】	2013/●/●	空気清浄機からプラスチックの焦げたにおいがした。原因を調査中。	製品破損		大阪府	
H25-25	2013/●/●	石油ふろがま	2012/●/●	使用中にぼっと火が吹き上がり手に火傷をした。原因を調査中。		軽傷	香川県	BBBB社 B-x x 12/00/00に社告。
H25-25	H25/10/02～H25/10/08 の受付情報 (PDF: 145KB)			64件	6ページ			
H25-24	H25/09/25～H25/10/01 の受付情報			35件	3ページ			



ご清聴いただきありがとうございました。

事故 **ナイト** いいね

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
製品安全センター 製品安全調査課  
TEL:06-6942-1113 FAX:06-6946-7280  
E-mail: jiko@nite.go.jp